

2020 年度組織調査部報告
「CPAP 管理状況の実態調査」

アンケート回収率 58.7% (105 施設)

①「CPAP 管理をしていますか」

- ☐あり 91 施設 (87%)
☐なし 14 施設 (13%)

②「月の新規処方者数は？」

- ☐COVID-19 流行前 (前年)
病院 23.8 件/月 クリニック 16.9 件/月
☐COVID-19 流行後 (最近)
病院 19.7 件/月 クリニック 12.1 件/月
*COVID-19 流行後、処方件数は 20.9%減少

③「管理・対応者」

- ☐検査技師 病院 53% クリニック 49%
☐医師 病院 31% クリニック 29%
☐看護師 病院 9% クリニック 18%
☐工学技士 病院 3% クリニック 1%
*病院と比較してクリニックでは、看護師の管理・対応者の割合が高い

④「CPAP 管理件数」

- ☐1000 件以上 病院 11% クリニック 53%
☐500~999 病院 17% クリニック 23%
☐300~499 病院 9% クリニック 3%
☐100~299 病院 30% クリニック 12%
☐50~99 病院 20% クリニック 9%
☐49 以下 病院 13% クリニック 0%
*500 件以上 病院 28% クリニック 78%

⑤「受診間隔の割合」2018 年比較

- ☐毎月 2018 年 67.9% 2020 年 50.3%
☐2 ヶ月 2018 年 26.2% 2020 年 35.4%
☐3 ヶ月 2018 年 13.6% 2020 年 20.8%
*2018 年と比較し 2、3 ヶ月受診の割合が増加

⑥「CPAP 使用中のモード」

- ☐固定 病院 20.2% クリニック 30.0%
☐オート 病院 79.7% クリニック 69.2%

⑦「遠隔モニタリングを活用していますか？」

- ☐活用している 55 施設 (58.5%)
全体 2018 年 46.4% 2020 年 58.5%
病院 2018 年 46.0% 2020 年 55.0%
クリニック 2018 年 47.0% 2020 年 65.0%
*1000 件以上管理している医療機関
2018 年 23.5% 2020 年 35.7%

⑧「遠隔対象者の割合は？CPAP 管理数比」

病院、クリニック共に既存 CPAP 患者の 90%以上が遠隔対象者となっている

⑨「遠隔モニタリング：活用目的」

*従来の活用目的 (初期フォロー、トラブル早期発見) に加えて、モニタリング加算、当月未受診、感染症流行時フォローが増加

⑩「遠隔モニタリングの確認項目」

*使用頻度、時間、圧、リーク、デバイス AHI を確認している施設が多い
*フロー波形も確認 (少数)

⑪「遠隔モニタリングのタイミング」

*導入 7 日以内、1 か月後、モニタリング月、問い合わせ時が多い。
*2 ヶ月後実施や設定変更後 (少数施設)

【遠隔モニタリングを活用していない施設】

39 施設 (41.5%)

内訳：病院 27 施設、クリニック 12 施設

⑫「遠隔モニタリングを活用していない理由」

・主なもの：労力、マンパワー不足、準備中
施設基準未達成、患者の同意が得られない

⑬「今後、遠隔モニタリングを活用したいか？」

- ☐活用したい 91%
病院 2018 年 63.2% 2020 年 70.4%
クリニック 2018 年 52.6% 2020 年 100%
*2018 年と比較し、活用したい施設が
病院で+7.2%、クリニックで+47.4%増加
☐活用したくない 9%
・必要なし、労力、マンパワーの問題

⑭「困っていること」

・通信エラー、管理ソフトの操作性、
人員不足、保険点数が低い、未受診
など

COVID-19 流行をきっかけに受診間隔延長、遠隔モニタリングを活用している施設数が増加していることが考えられる。今後も増加する CPAP 患者の効率的な管理のために、遠隔モニタリングの有効かつ適正な活用方法を模索する必要がある。